

馬 神 社

(うまじんじゃ)



和泉北3丁目に、馬神様をまつた馬神社があります。馬神様の起源は定かではありません。昔は田畑を耕すためには牛や馬が必要不可欠であり、農家の人は家族と同じように大切にしていました。このことから考えると、馬神社でおまつりしているのは馬頭観音ではないかとも言われています。

明治、大正時代には、旧暦の9月4日に祭がありました。農家から米を集め、参拝者に握り飯を配っていました。また、牛馬を飼っている農家は、薪を神社に持ち寄り、火をたいて道行く人の接待をしていました。しかし、今ではそのような祭もなくなっています。現在では、秋祭りのときに、神輿のお旅所になっています。

神殿は昭和50年に、鳥居は昭和55年に新しくしました。



※お旅所（おたびしょ）・・・神輿（みこし）を仮に置いておく所



参考文献

「和泉郷土誌」（昭和62年 和泉郷土誌編集委員会）